

ライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築 アクションプラン

令和5年3月策定
大 阪 府

目次

1.	アクションプラン策定の背景	P.3	－	P.10
2.	ライフサイエンススタートアップ・エコシステムの方針	P.11	－	P.14
3.	実施ステップ	P.15		
	3－1. カテゴリーごとの施策案	P.16	－	P.20
	3－2. 重点実施項目	P.21	－	P.31
4.	推進体制	P.32		
	4－1. 関係プレイヤーの役割	P.33	－	P.36
	4－2. 協議会の発足、運営	P.37	－	P.38

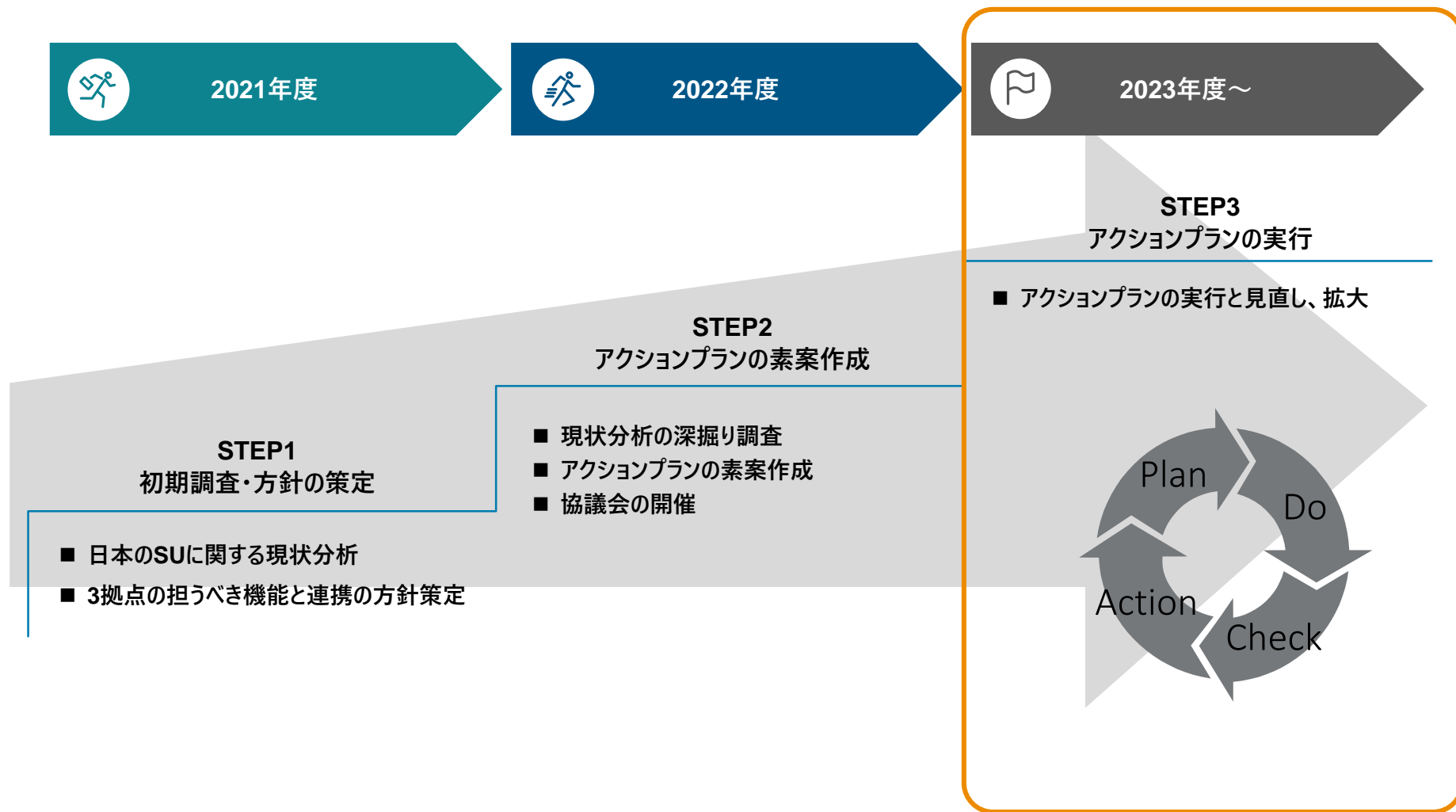
1. アクションプラン策定の背景

はじめに

- 世界各国の技術力やビジネス規模が大きく進歩し、企業の国際的な競争環境が厳しさを増す中、従来日本のリーディング産業とされてきた自動車や電子機器等に代わる新たな成長産業としてライフサイエンス産業が注目を集めています。
- 大阪府では、古くから医薬品製造を生業とする企業や高度な研究を進める大学・研究機関が所在しているため、これらの持つリソースを活用して加速度的にライフサイエンス産業を活性化することを目的としてスタートアップ（以下、「SU」）の支援に注力しています。
- 大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムは、都市の枠を超えそれぞれの強みと共通点を活かして優れた製品・サービスをスピーディ・継続的に生み出すエコシステムとして、令和2年に内閣府により「スタートアップ・エコシステム・グローバル拠点都市」として選定されました。
- また、内閣府はバイオ戦略2020のもと、令和4年にグローバルバイオコミュニティとして東京圏・関西圏（BiocK）を認定し、ライフサイエンス分野での取組みに着目しています。
- これらを踏まえ、ライフサイエンス分野におけるスタートアップ・ベンチャーの起業及び成長を促進するため、「彩都」、「健都」、「中之島」の3拠点をはじめ、府域の産学官が連携したエコシステム（以下、「ES」）の構築を推進しています。

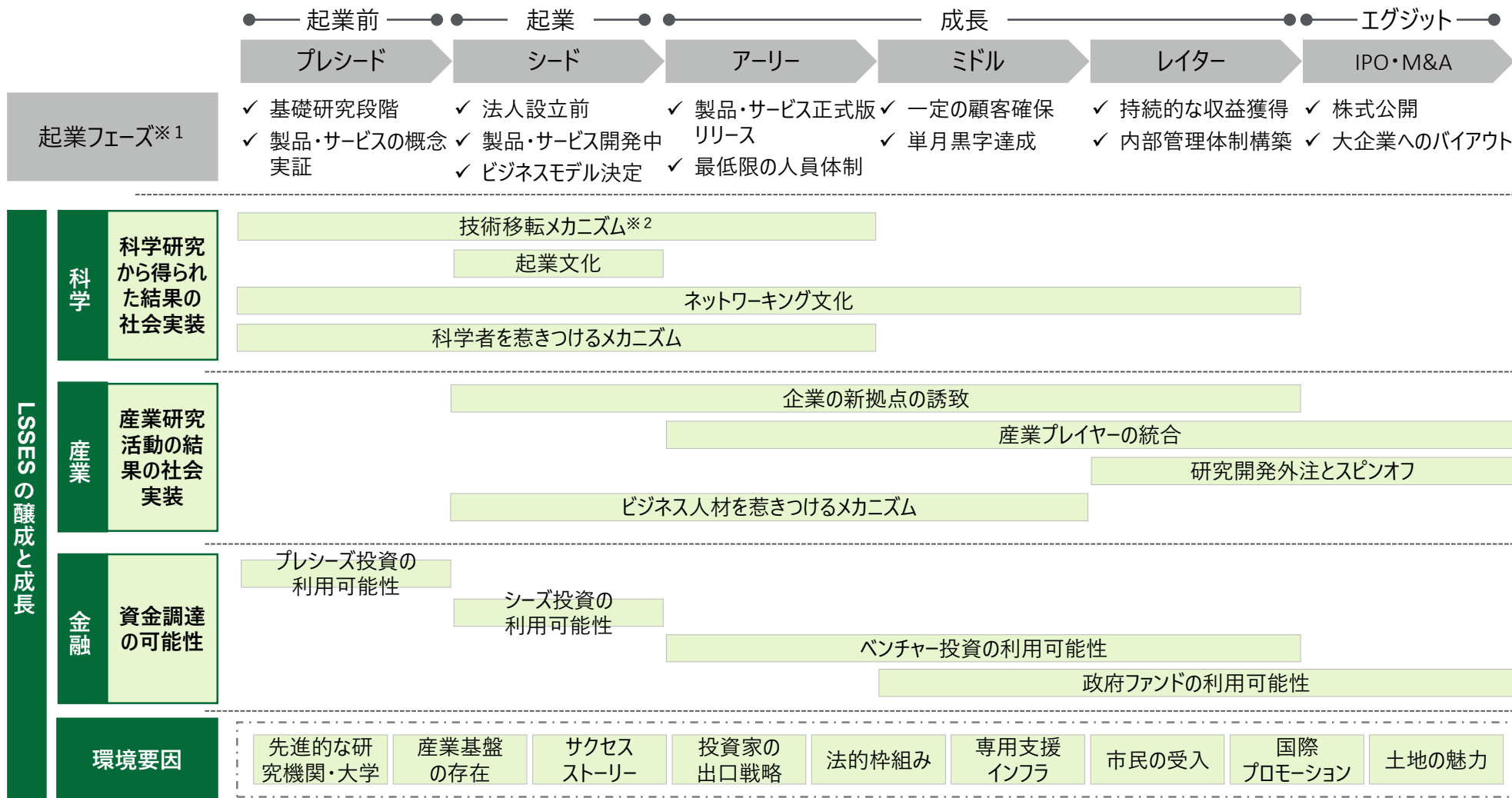
本プランでは、2021・2022年の大阪府の現状と課題に関する調査・分析の結果を受けて、2023年度から2028年度に大阪府が取り組むべき施策を示します

本年度事業の位置づけ



2021年の事業ではエコシステム形成に必要な要素を整理し、2022年度にかけて大阪府に不足している要素を調査・分析しました

スタートアップエコシステムに必要な要因



2021年・2022年のデータ分析・ヒアリング調査の結果、大阪府のライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築に際しては、下記課題が抽出されました

大阪府における主な課題感_1/3

分類		主な課題感
ユニ タ	経営人材	<ul style="list-style-type: none"> 大学内での経営人材育成プログラムが不足している OJTでの経営教育が必要だが機会と環境がない
		<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス分野で成功しているSUが少ない 先輩起業家からのメンタリング機能が不足している
	外部からの獲得	<ul style="list-style-type: none"> (ライフサイエンス分野という特殊な領域で経営が可能な) 経営人材が圧倒的に足りない 大企業とSUの人材交流機会が必要
		<ul style="list-style-type: none"> 経営人材候補者が不足している 経営人材候補者に関する情報が整理されていない
	支援者	<ul style="list-style-type: none"> 研究内容とビジネスの橋渡しができる人材が少ない 大企業の研究者が自身のノウハウをメンタリングできる機会が不足している
		<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス分野に精通した知財戦略や法務（薬機法等）に関する支援が必要 SUの間接部門を担う人材がおらず、大企業のノウハウが不足している

2021年・2022年のデータ分析・ヒアリング調査の結果、大阪府のライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築に際しては、下記課題が抽出されました

大阪府における主な課題感_2/3

	分類	主な課題感
モノ (ソフト)	マッチング	<ul style="list-style-type: none">研究内容をサイエンスに精通していないプレ経営者・顧客候補先が理解できるようみ砕いて発信できる人材、機能が必要マッチング事業やピッチコンテストが乱立していて、どの事業を活用すれば良いかわからない「SUと研究機関」「SUと経営人材」ではなく、「SUと大企業」、「SUとヘッドハンティング企業」のマッチング施策が必要
	ネットワーキング	<ul style="list-style-type: none">協同研究先や顧客候補先を巻き込んだ、SUと大企業とのネットワーキングの場が不足しているアカデミアと企業が対話する機会が不足している
モノ (ハード)	研究資材	<ul style="list-style-type: none">起業時に必要な物品を揃えることが難しい（レンタル機能等が欲しい）
	ラボ	<ul style="list-style-type: none">SUが入居できるラボが不足しているミドルステージ以降（特に上場後）のSUが入居できるウェットラボが極端に少ない

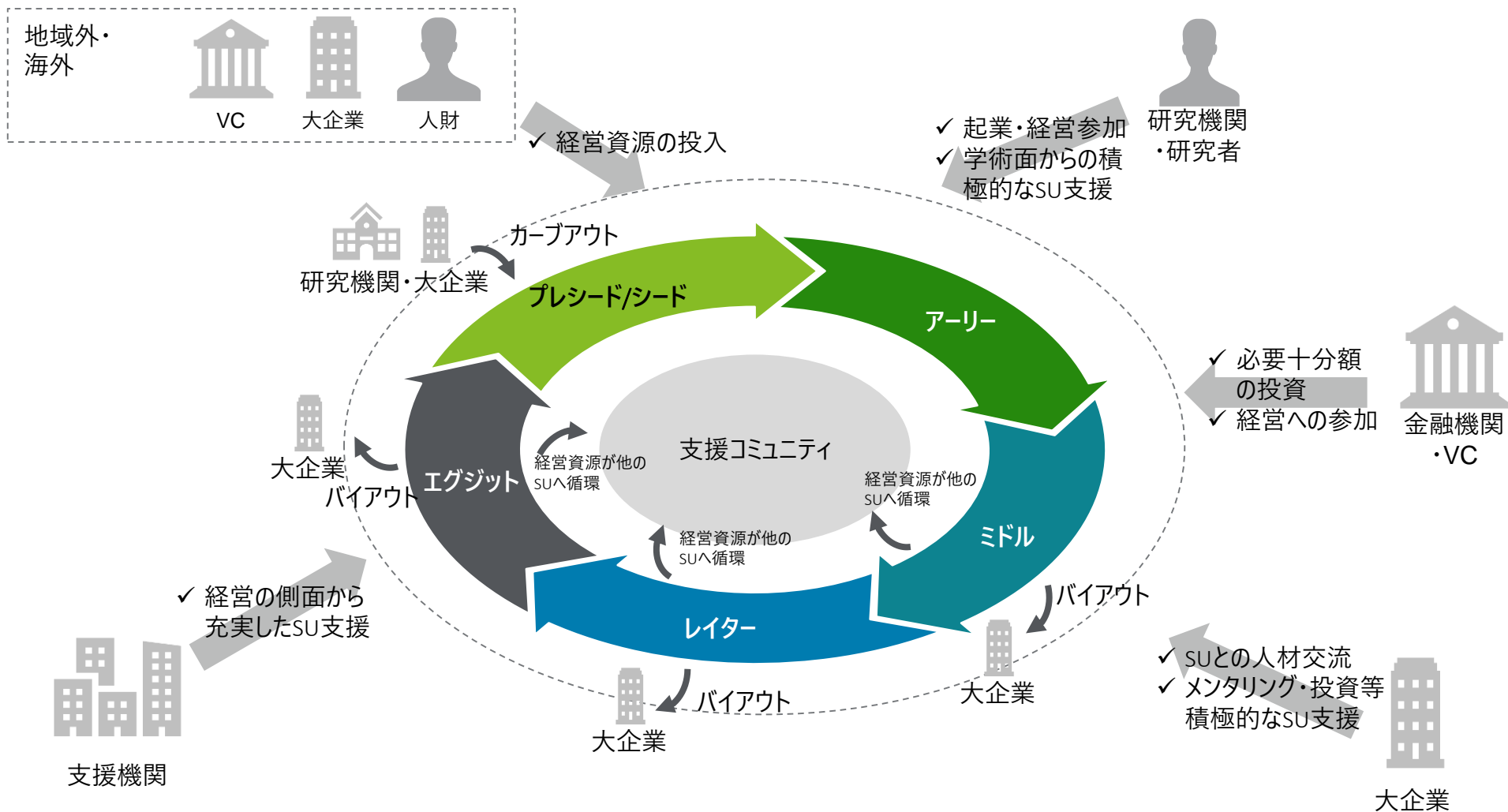
2021年・2022年のデータ分析・ヒアリング調査の結果、大阪府のライフサイエンススタートアップ・エコシステム構築に際しては、下記課題が抽出されました

大阪府における主な課題感_3/3

	分類	主な課題感
カネ	起業前	<ul style="list-style-type: none">• 起業前の研究開発資金（GAPファンド等）が不足している
	起業後	<ul style="list-style-type: none">• ラボの入居にあたり初期費用や設備投資に必要な資金がない
		<ul style="list-style-type: none">• 起業直後の研究開発資金、操業資金が不足している• VC・金融機関にライフサイエンスに精通した人材が不足しており、出資後の伴走支援が必要
情報	情報発信	<ul style="list-style-type: none">• ビジネスアイデアや研究内容に関する情報発信機会が必要• アカデミアやSUの発信内容には、大企業と連携する際の条件を満たしていないものも多く、内容の整備が必要
		<ul style="list-style-type: none">• 海外向けの情報発信が弱い• JETRO等既存機関との連携が必要

また各種調査の結果、各プレイヤーが積極的に関与・連携し起業文化を醸成することで、ESを加速度的に形成・拡大できるという示唆を得られました

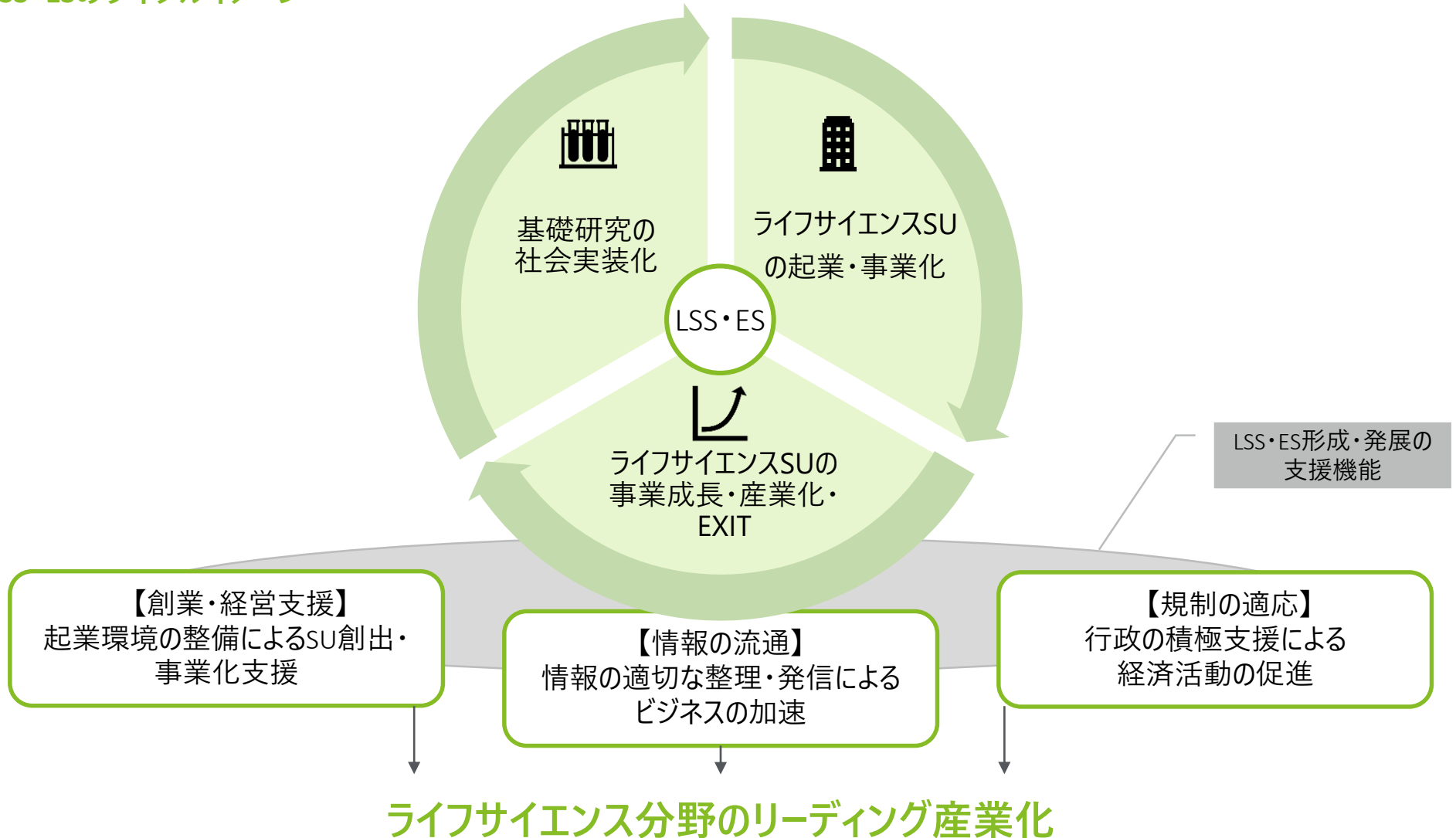
LSS・ESの目指す姿



2. ライフサイエンススタートアップ・ エコシステムの方針

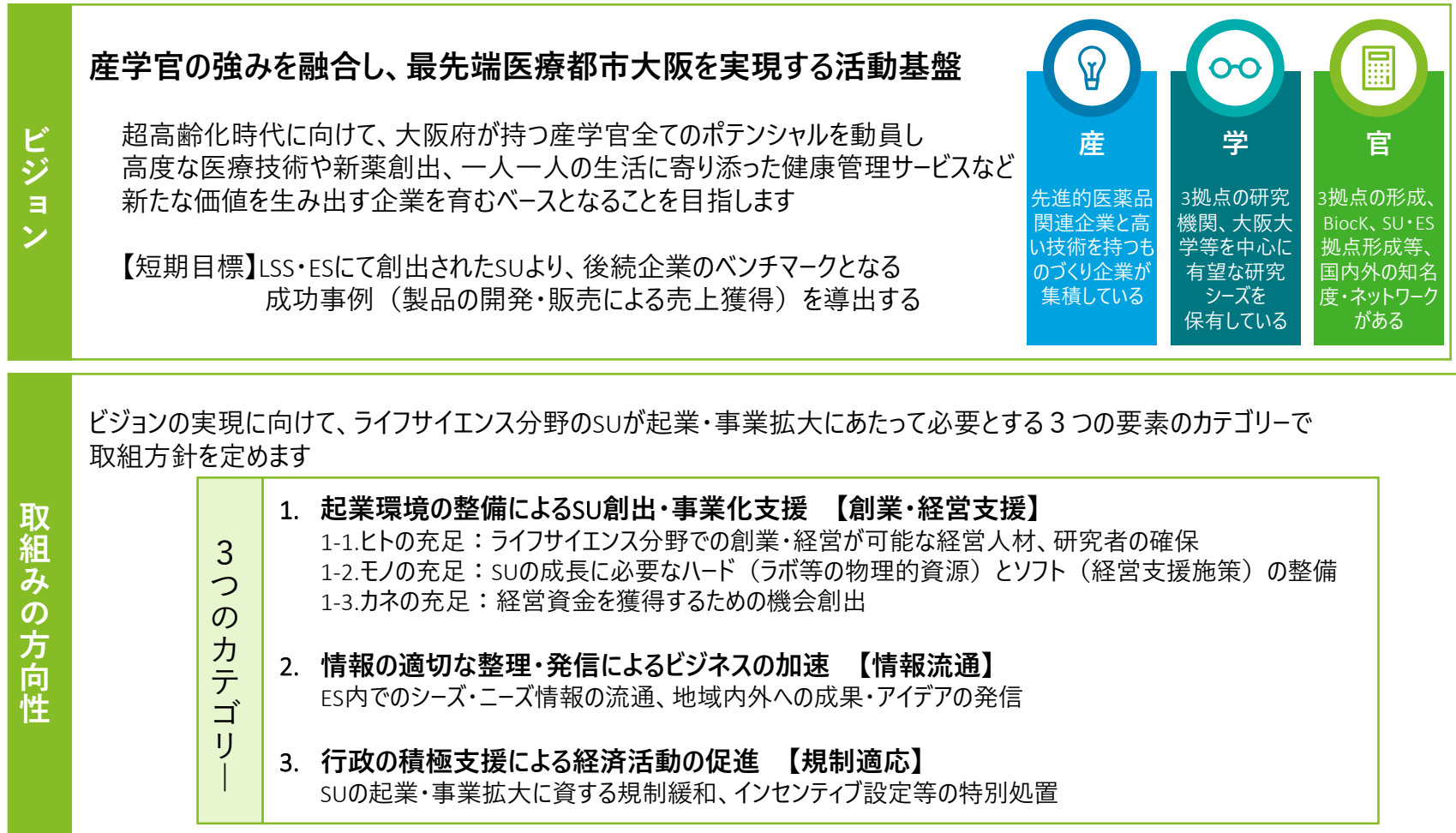
大阪府ではライフサイエンス産業の主要産業化を実現するため、3拠点と産学官金の連携によるSUの起業前からエグジットに至るまでの充実した支援施策・環境整備を進めます

LSS・ESのサイクルイメージ



大阪府のLSS・ESは、大阪府の産学官が有するリソースと強みを融合し、世界的長寿国家の生活と健康を支える最先端医療都市の実現を目指します

LSS・ESのビジョンと取組みの方向性



エコシステム全体の目標達成に向けて、直近5年間の活動目標を設定します

各カテゴリーの目的と目標

創業・経営支援 起業環境の整備による SU創出・事業化支援	目的 SUが起業・事業拡大するにあたって必要となる経営資源の獲得を容易にし、積極的な起業とスムーズな成長を支援する
	活動目標 <ul style="list-style-type: none">・ シーズとビジネスニーズのマッチング施策の整理、拡充・ 起業・事業拡大に際して必要となる環境整備、経営資源の提供・ SUへのアンケート・ヒアリングを通じた、SUが必要とする支援内容の把握
情報流通 情報の適切な整理・発信 によるビジネスの加速	目的 ES内のシーズとニーズをわかりやすく整理・発信することでビジネス化を加速すると同時に、研究成果や事業の成功事例を対外発信することで投資を促進する
	活動目標 <ul style="list-style-type: none">・ 産学官金の情報交流、意見交換の場の整理、拡充・ 国内外に向けた情報発信施策の実施
規制適応 行政の積極支援による 経済活動の促進	目的 SUの起業・事業拡大に向けた優遇処置と、大企業がSUと連携する際のインセンティブ等を設定することで活発な経済活動を促す
	活動目標 <ul style="list-style-type: none">・ SU向け優遇施策の企画、推進・ 大企業向けSUとの連携促進事業の企画、推進

3. 実施ステップ

3-1. カテゴリーごとの実装すべき機能と取組案

3-2. 重点実施項目

3. 実施ステップ

3-1. カテゴリーごとの実装すべき機能と取組案

3-2. 重点実施項目

大阪府の現状と課題を踏まえ、LSS・ESの構築に向けて実装すべき機能と取組案を整理しました

大阪府に必要な機能と取組案 (1/4)

分類		実装すべき機能	取組案
ヒト	経営人材	経営人材育成プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス系学科でのMBA講座等経営関連講座の拡充 産学連携のOJTプログラムの開発、提供
		メンタリング機能	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス分野のSU成功事例の収集・紹介 先輩起業家等からのメンタリング制度の充実
		大企業とSUの人材交流	<ul style="list-style-type: none"> 大企業よりSUへの出向による人的支援
	外部からの獲得	経営参加可能な人材の発掘、関与促進	<ul style="list-style-type: none"> SUの経営者となり得る人材の発掘、プール VC、金融機関による積極的な経営参加・助言
		支援者	研究とビジネスの橋渡し
	知財戦略・法務支援		<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス分野に精通した専門家による伴走支援 支援機関、バックオフィス人材の獲得・育成

※本頁にて記載の取組案は、大阪府の課題解決に必要な取組みの一覧であり、大阪府が主体となって取り組むことを明言するものではありません

大阪府の現状と課題を踏まえ、LSS・ESの構築に向けて実装すべき機能と取組案を整理しました

大阪府に必要な機能と取組案 (2/4)

分類	実装すべき機能	取組案	
モノ (ソフト)	マッチング	<ul style="list-style-type: none"> 高度な研究内容に関する情報の簡易化 	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス分野に精通していない経営人材向けに研究内容のわかりやすい説明・発表会 SUから研究者へ研究内容に関する質疑応答機会の設定
		<ul style="list-style-type: none"> SU支援事業の整理、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> マッチング事業、ピッチコンテスト等、多数存在する支援事業・イベントの整理・発信 SUごとの個別相談機会の実施
		<ul style="list-style-type: none"> SUと大企業、SUとヘッドハンティング企業のマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> 業務提携、人材交流、採用支援等を目的とした新たなマッチングプラットフォームの構築
	ネットワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーキング活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイエンス分野のビジネス関係者向けサロン、イベントの開催 共同研究に向けた大学・大企業とSUの商談会
	経営支援	<ul style="list-style-type: none"> 共通事務、専門分野の業務支援 	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きの代行機能の設置 財務、法務、人事、経営戦略等の相談窓口の設置、伴走支援事業
		<ul style="list-style-type: none"> 関係者のニーズとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 行政とSU・研究機関・大企業が直接会話する機会の設置（定期的なキャラバン、座談会等）

※本頁にて記載の取組案は、大阪府の課題解決に必要な取組みの一覧であり、大阪府が主体となって取り組むことを明言するものではありません

大阪府の現状と課題を踏まえ、LSS・ESの構築に向けて実装すべき機能と取組案を整理しました

大阪府に必要な機能と取組案 (3/4)

	分類	実装すべき機能	取組案
モノ (ハード)	研究資材	研究機器、備品のレンタル・シェア	<ul style="list-style-type: none"> 研究に使用する共通機器の貸し出し事業
	ラボ	ウェットラボの追加建設	<ul style="list-style-type: none"> 教授の拠点近くのラボの建設 ミドルステージ以降のSUを入居対象者としたラボの設置
カネ	起業前	研究開発に係る金銭的支援	<ul style="list-style-type: none"> GAPファンド向けの資金提供（投資・補助金） 起業前時点での資金調達支援（メンタリング、VCの紹介、補助金の提供等） ビジネスのアイデア出しと集中投資
	起業後	SU向け補助金制度の拡充	<ul style="list-style-type: none"> SUがラボ入居時に必要となる初期費用、設備投資の提供（投資・補助金） 経営資金の助成
研究開発資金の支援の拡充		<ul style="list-style-type: none"> 起業直後の研究開発資金の助成 起業後の資金調達支援（メンタリング、財務会計に関する講座提供、VCの紹介等） 	

※本頁にて記載の取組案は、大阪府の課題解決に必要な取組みの一覧であり、大阪府が主体となって取り組むことを明言するものではありません

大阪府の現状と課題を踏まえ、LSS・ESの構築に向けて実装すべき機能と取組案を整理しました

大阪府に必要な機能と取組案（4/4）

	分類	実装すべき機能	取組案
情報	情報発信	研究に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ シーズ内容、研究内容を発表機会の設定 ・ 研究内容の国内外へのアピール機会の設定、情報発信媒体の整備
		ビジネスに関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスアイデア（ニーズ）の発表機会の設定 ・ 優良な事業の国内外へのアピール機会の設定、情報発信媒体の整備
		海外向け情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ JETRO等との連携による情報発信機会の設定 ・ 海外から経営資源を呼び込むことを目的とした施策の実施
		市民向け情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ SUの活動に対する理解の獲得に向けた情報発信媒体の整備、機会の設定
規制	緩和	SU向け規制緩和の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定の条件下で法人税の優遇制度の創設 ・ 登記等に係る費用の負担軽減制度の創設
	支援	SUとの連携促進事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大企業とSUの業務提携、取引に対する大企業向けインセンティブの設定 ・ 研究者のSU支援に対する補助金の提供
		SU従事者の就業・生活安定支援施策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフサイエンス分野の健康保険組合のSU加盟支援、福利厚生サービスの提供支援、共同利用可能な生活支援（保育施設等）の整備

※本頁にて記載の取組案は、大阪府の課題解決に必要な取組みの一覧であり、大阪府が主体となって取り組むことを明言するものではありません

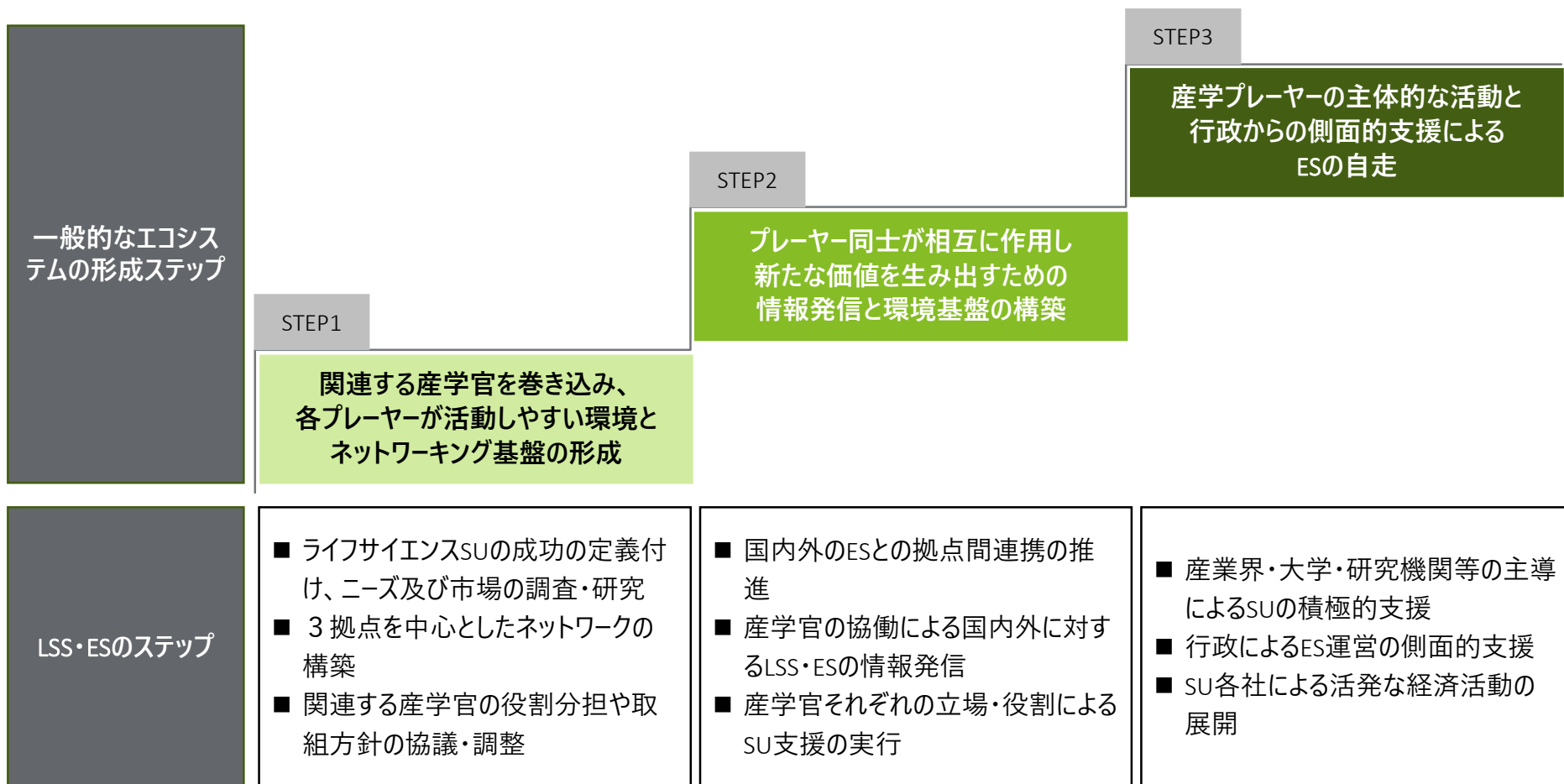
3. 実施ステップ

3-1. カテゴリーごとの実装すべき機能と取組案

3-2. 重点実施項目

ESの形成に向けては中期的な視点で、行政がコーディネートするステップから産学プレイヤーが主導するステップに至るまで段階的に各種施策を展開していく必要があります

エコシステム形成に必要なステップ



前章にて導出した実装すべき機能を各ステップにマッピングすると下記の通りです

エコシステム形成に必要なステップ

	STEP1	STEP2	STEP3
ESの形成ステップ	関連する産学官を巻き込み、各プレーヤーが活動しやすい環境とネットワーキング基盤の形成	プレーヤー同士が相互に作用し新たな価値を生み出すための情報発信と環境基盤の構築	産学プレーヤーの主体的な活動と行政からの側面的支援によるESの自走
LSS・ESのステップ	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライフサイエンスSUの成功の定義付け、ニーズ及び市場の調査・研究 ■ 3拠点を中心としたネットワークの構築 ■ 関連する産学官の役割分担や取組方針の協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外のESとの拠点間連携の推進 ■ 産学官の協働による国内外に対するLSS・ESの情報発信 ■ 産学官それぞれの立場・役割によるSU支援の実行 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業界・大学・研究機関等の主導によるSUの積極的支援 ■ 行政によるES運営の側面的支援 ■ SU各社による活発な経済活動の展開
創業・経営支援 起業環境の整備によるSU創出・事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大企業とSUの人材交流制度の整備 ・ 高度な研究内容に関する情報の簡易化支援 ・ SU支援事業の整理、情報発信 ・ SUとライフサイエンス大企業、SUとヘッドハンティング企業のマッチング施策の実施 ・ ネットワーキング事業の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成プログラムの整備 ・ メンタリング機能の拡充 ・ 研究とビジネスの橋渡し人材の確保 ・ ニーズのとりまとめ ・ 研究機器、備品のレンタル事業 ・ 研究開発資金の支援の拡充 ・ SU向け補助金制度の拡充 ・ 研究開発資金の支援の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営人材候補者の整備、拡充 ・ ライフサイエンス分野に関する知財戦略、法務支援の充実 ・ 共通事務、専門分野の支援拡大 ・ ウェットラボの追加建設
情報流通 情報の適切な整理・発信によるビジネスの加速	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究に関する情報発信 ・ ビジネスに関する情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外向け情報発信 ・ 市民向け情報発信 	-
規制適応 行政の積極支援による経済活動の促進	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ SU向け規制緩和の実施 ・ SUとの連携促進事業の実施 ・ SU従事者の終業・生活安定支援施策の実施

前頁にて抽出した実装が急がれる機能は重点実施施策として優先的に支援を検討し、産学官で連携して早期解決を目指します

重点実施項目 一覧

実装が急がれる機能	重点実施施策	カテゴリー
<ul style="list-style-type: none">• SU支援事業の整理、情報発信• ネットワーキング活動の支援	<p>3拠点の有機的連携の推進</p> <p>府と3拠点の連携によって、研究者・大企業・SU等の交流を促進する施策を整理、必要に応じて追加開催</p>	<p>創業・経営支援</p> <p>起業環境の整備によるSU創出・事業化支援</p>
<ul style="list-style-type: none">• SU支援事業の整理、情報発信• 研究に関する情報発信• ビジネスに関する情報発信	<p>ニーズとシーズのマッチング</p> <p>府が主体となってニーズとシーズをマッチングする施策を整理、必要に応じて追加施策を実施</p>	
<ul style="list-style-type: none">• 関係者のニーズとりまとめ• 海外向け情報発信	<p>情報の収集・整理・発信</p> <p>府が主体となって、府内に拠点を有するライフサイエンス系SUのニーズと情報を収集、成功事例の把握、整理・発信</p>	<p>情報流通</p> <p>情報の適切な整理・発信によるビジネスの加速</p>

重点実施施策「3拠点の有機的連携の推進」は下記のような事業案を想定しています

創業・経営支援「起業環境の整備によるSU創出・事業化支援」

3拠点の有機的連携の推進

事業の目的
・ポイント

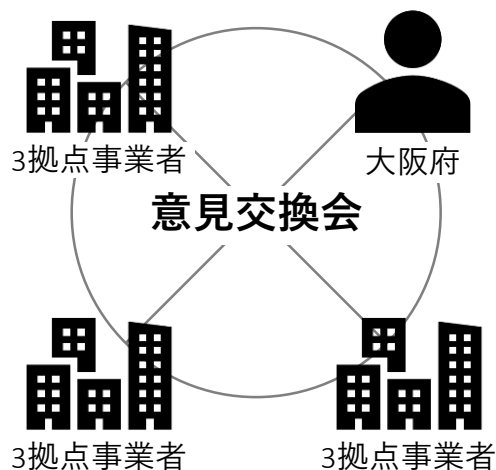
- ✓ 大阪府が整備を進める3拠点における、SU支援施策の相互連携可能性を模索し、シナジー効果発揮を目指す
- ✓ 3拠点連携により、大阪府独自のES構築を目指し、SUの産業化支援につなげる

本施策で
実装される
主な機能

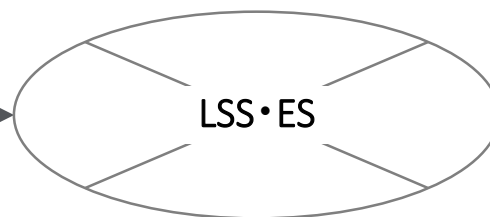
- ✓ SU支援事業の整理、情報発信
- ✓ 乱立しているイベントの統合支援
- ✓ ネットワーキング活動の支援

実施イメージ

- 3拠点に所在する、SUや研究者支援の取組みを行っている事業者（ラボ等運営事業者に限定しない）による、プレスト形式での意見交換会を実施する
- 意見交換会では、各事業者の取組み状況に基づき、利用可能な業務スペースの開放や、定期的なサロンイベント等、既存施策の共同開催・統合の可能性を模索し、連携によるシナジー効果を得られるようにする
- 大阪発SUの成功事例創出に向けた共通目標を策定する



- 既存施策の共同開催や統合の実施
- 新事業を追加提供



参加



経営者
候補・SU



大企業



研究者



支援者
(土業等)



VC・
金融機関

重点実施施策「ニーズとシーズのマッチング」は下記のような事業案を想定しています

創業・経営支援「起業環境の整備によるSU創出・事業化支援」 ニーズとシーズのマッチング

事業の目的
・ポイント

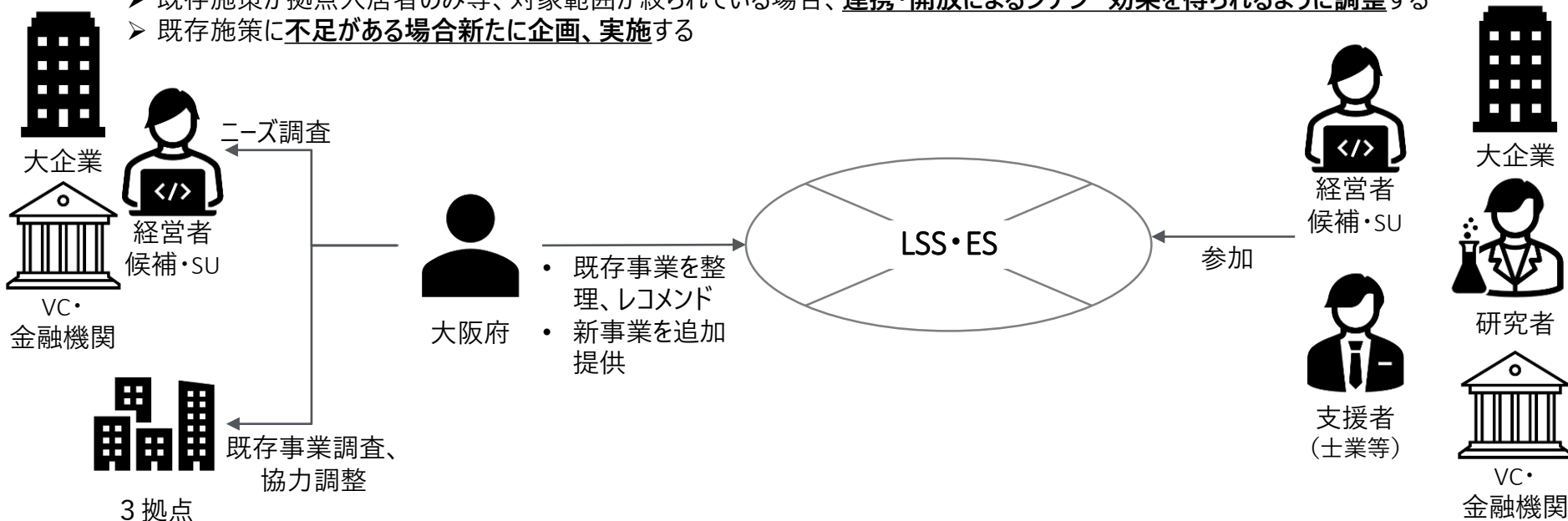
- ✓ SU同士や、SUと研究者、大企業、支援機関、VC・金融機関等を引き合わせ、新たなビジネスの育成やオープンイノベーションを促す
- ✓ ビジネスニーズを研究機関へフィードバックすることで研究テーマの選定時の参考としていただく

本施策で
実装される
主な機能

- ✓ SU支援事業の整理、情報発信
- ✓ 研究に関する情報発信
- ✓ ビジネスに関する情報発信

実施イメージ

- 特許や技術とビジネスアイデアのマッチングだけでなく、オープンイノベーションを目指す大企業や新たな投資先を探索するVC・金融機関とSUをマッチングするなど、LSS・ESに存在するシーズとニーズをマッチングする事業を広く対象として**既存事業を調査・整理し、レコメンドする**
- 既存施策が拠点入居者のみ等、対象範囲が絞られている場合、**連携・開放によるシナジー効果を得られるように調整する**
- 既存施策に**不足がある場合新たに企画、実施する**



重点実施施策「情報の収集・整理・発信」は下記のような事業案を想定しています

情報流通_「情報の適切な整理・発信によるビジネスの加速」

情報の収集・整理・発信

事業の目的
・ポイント

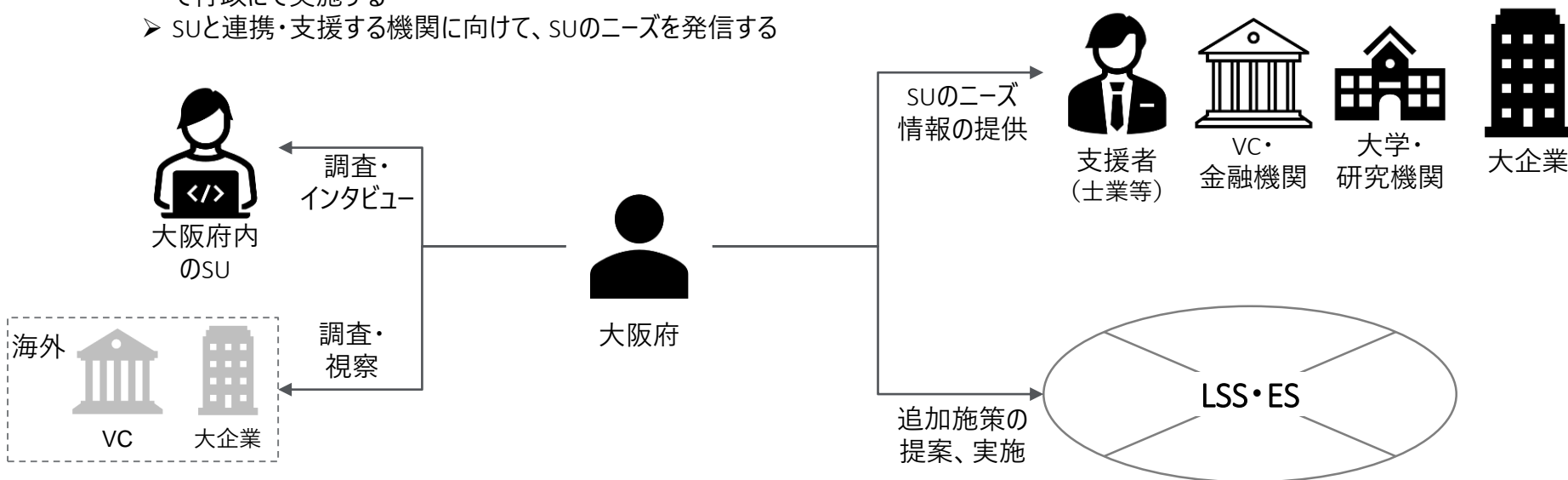
- ✓ 府内に拠点を持つライフサイエンス系SUが実際に抱えている課題やニーズと、各社が進出を望む海外市場の動向を調査、発信する
- ✓ 既存施策では支援が不足している領域の支援施策を検討し、支援機関・企業と連携して提供する

本施策で
実装される
主な機能

- ✓ 関係者のニーズとりまとめ
- ✓ 海外向け情報発信

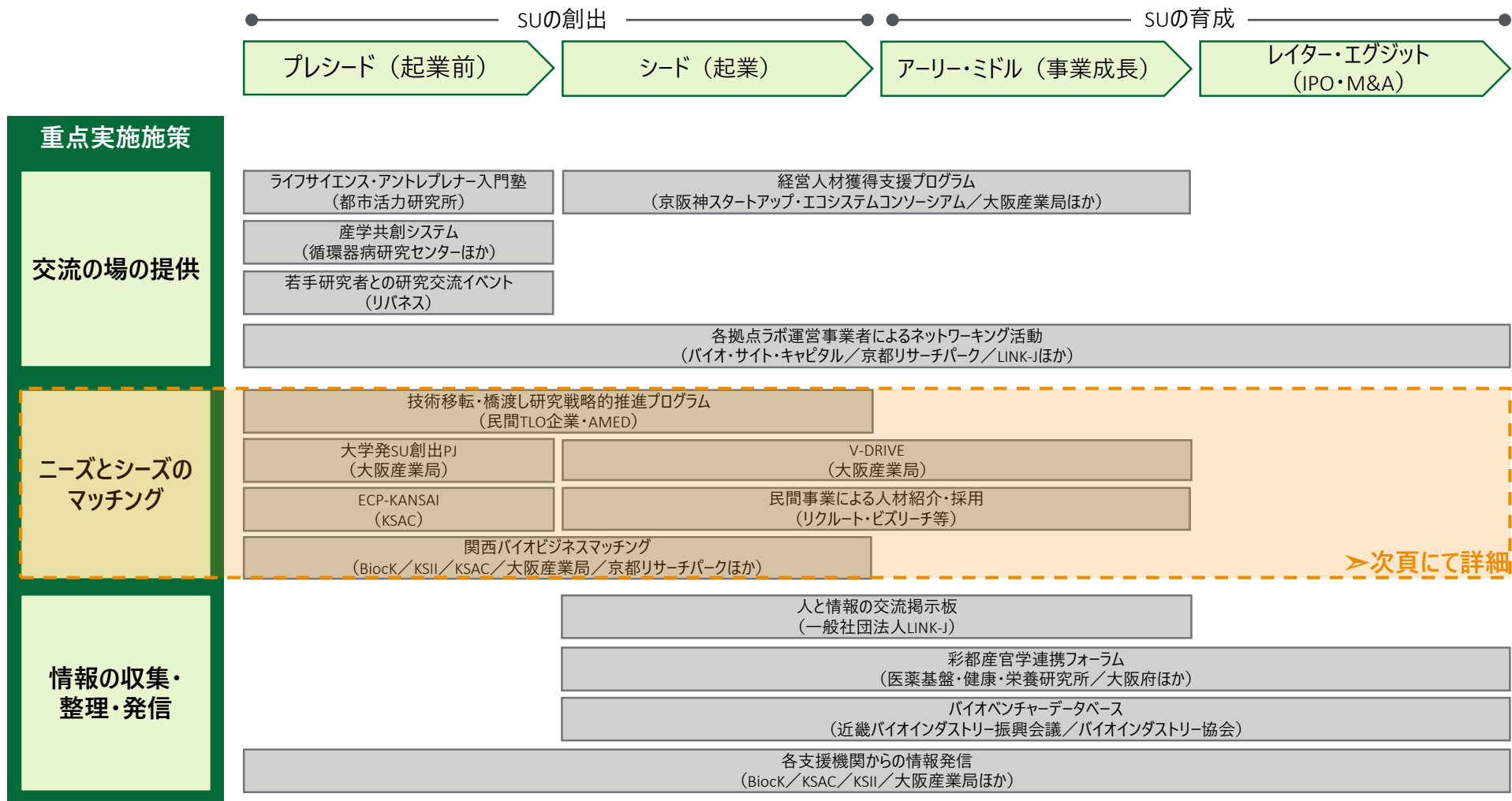
実施イメージ

- 大阪府内に拠点を有するライフサイエンス系のSUの現状や具体的な課題、ニーズの所在を直接確認する
- SUが進出しようとしている先である海外市場の動向や現地側が日本のSUに求めることを調査する
- SUのニーズや海外進出に際して必要となる支援の内、既存事業で不足している領域は新たな企画をESに提案、必要に応じて行政にて実施する
- SUと連携・支援する機関に向けて、SUのニーズを発信する



重点実施施策については、大阪府における既存の取組みを踏まえて、未整備となっている領域への注力・既存の取組みとの連携を図る必要があります

大阪府における既存の取組みマッピング



中でもマッチング事業に関してはマッチングイベントが過熱している領域と不足している領域に大きな乖離がある状況です

主な既存マッチング施策のマッピング

重点実施施策	施策名	マッチング先					
		シーズ・研究者・研究機関	大企業	VC・金融機関	支援機関(土業等)	SU同士	その他
シーズとシーズのマッチング	関西バイオビジネスマッチング (BiocK/KSII/KSAC/大阪産業局/京都リサーチパークほか)	○	○	○		○	
	大学発SU創出PJ (大阪産業局)	○	○				
	V-DRIVE (大阪産業局)		○				
	ECP-KANSAI (KSAC)	○				○	
	技術移転・橋渡し研究戦略的推進プログラム (民間TLO企業・AMED)		○				
	研究シーズマッチングイベント (NEDO)		○				
	A-STEP (研究成果最適展開プログラム) (JST)	○	○			○	
	TSUNAGU (大阪大学ベンチャーキャピタル)		○			○	
	医工連携マッチング例会 (循環器病研究センター/医薬基盤・健康・栄養研究所ほか)	○					
	日欧バイオテック&ファーマパートナーリングカンファレンス (大阪バイオ・ヘッドクォーター)						○
	民間事業による人材紹介・採用 (リクルート・ビズリーチ等)					○	○

現在各拠点や既存協議団体等で実施されている施策の活用、連携を軸に不足する部分について追加施策を実施するべく、ニーズの調査分析から着手します

短期的な施策の流れ

直近1~2年	3年目以降
各種施策の実施・連携に向けて市場側のニーズ・動向を調査し、既存事業のカバー範囲と連携方法の検討、不足領域を補うための施策の企画を行う	ESの形成に向けて必要な機能を実装するべく、各種施策の実行と定期的な協議会を開催する



各種施策の実施・連携に向けて、直近で1～2年は下記の調査・検討を実施します

直近の実施事業案

#	事業名	目的	実施概要
1	SU調査	各種支援施策の対象者となる大阪府内のライフサイエンス系SUの課題とニーズを確認し、成功の定義を策定する	<ul style="list-style-type: none">大阪府内に拠点を有するライフサイエンス系SUへのアンケート・ヒアリング調査成功事例の把握、定義付け
2	海外市場調査	SUの海外進出を見据え、海外におけるライフサイエンス分野のニーズや府内SUに期待されている分野等の調査を実施する	<ul style="list-style-type: none">SU調査を踏まえて、調査対象となるエリアの絞り込み対象市場の動向、ニーズ調査
3	マッチング機会創出策の検討	SUの課題やニーズの実態と、海外市場の動向を踏まえ、既存のマッチング施策が不足している部分を精査し、必要に応じて新たな施策を検討する	<ul style="list-style-type: none">SUのニーズや、海外進出にあたって課題となる部分のカテゴライズカテゴリーごとに既存施策をマッピング不足する領域の施策を検討、実施
4	協議会の開催	上記3で企画した施策や各種調査の結果を踏まえたES運営の方針等について、関係者同士で意見交換する場を設定、運営する	<ul style="list-style-type: none">各種施策の内容や実施方法に関するプレス形式での協議
5	情報発信	大阪のネットワークとして取り組んでいることを外部にアピールし、府内事業者への投資またはESへの参加を促すきっかけとなるPR活動を実施する	<ul style="list-style-type: none">LSS・ESとしての取組内容、ES内で活躍するSU情報、最新の研究情報等のとりまとめWEB等の媒体を通じた情報発信

4. 推進体制

4-1. 関係プレイヤーの役割

4-2. 協議会の発足、運営

4. 推進体制

4-1. 関係プレイヤーの役割

4-2. 協議会の発足、運営

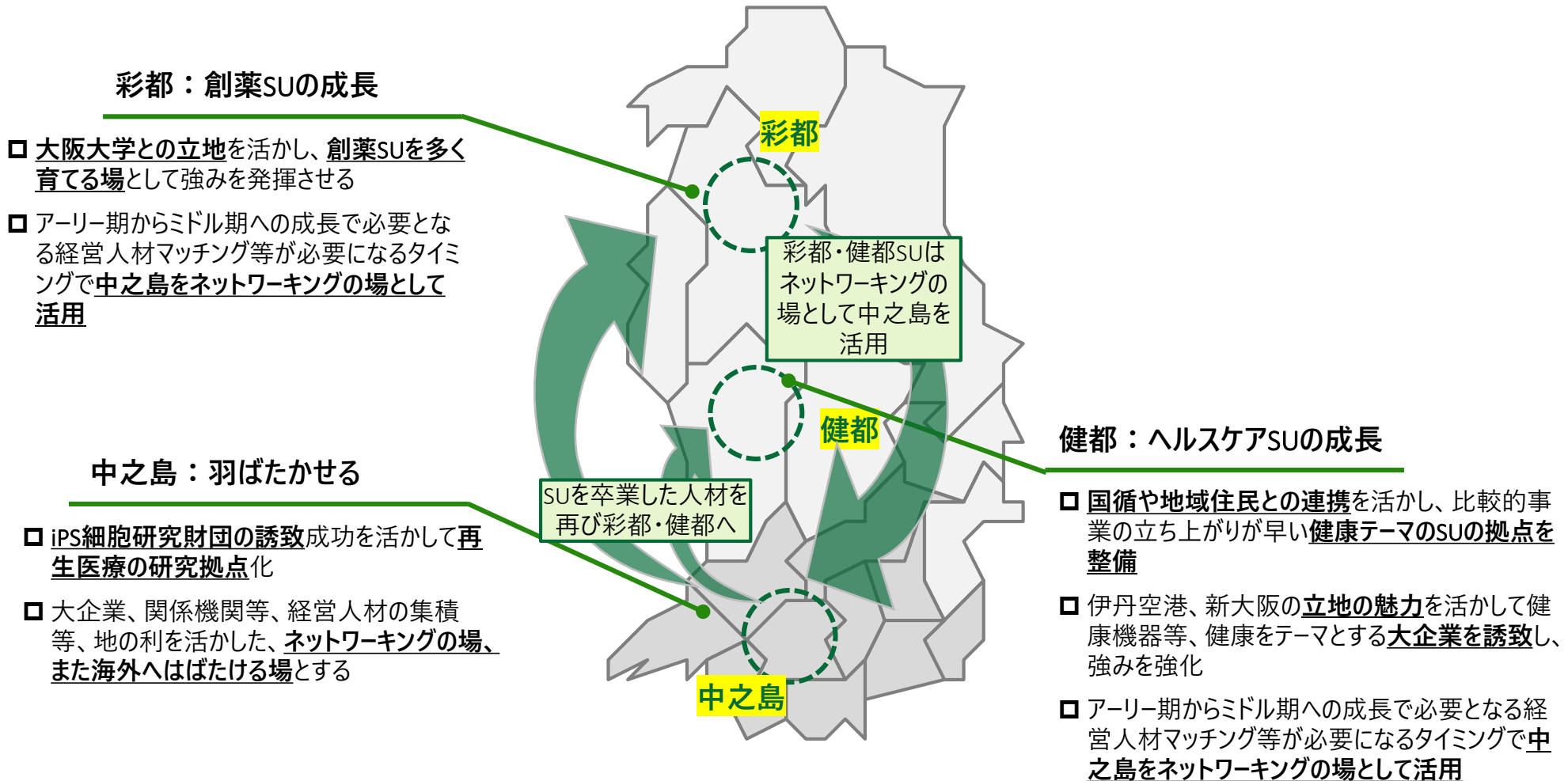
ビジョン実現には府民も含め、大阪府下全ての関係者が主体となって取り組む必要があります

ビジョン実現に向けた各主体の在り方のイメージ

主体	あり方
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> • LSS・ESを取り巻く全関係者のバランスを取り、全体最適となるようにESと施策の在り方を整える • ESが自走するまでの旗振り役としてLSS・ESの運営を行う。
3拠点	<ul style="list-style-type: none"> • LSS・ESの実質的な現場としてSUがより活動しやすい環境を整え、SUの誕生と成長を下支えする • SUの窓口としてSUと支援機関、研究機関、患者・消費者などをつなぐ
大学・研究機関 大規模病院	<ul style="list-style-type: none"> • 基礎研究の高度化にコミットし、ビジネス転用できるシーズを量産することでSUの選択肢を広げる • 高度な領域の専門家としてシーズの活用時にはSUにアドバイスをする、新たなシーズで自ら起業するなど、科学技術の実用化を推進する
SU支援機関 SU支援企業、土業	<ul style="list-style-type: none"> • 高度な専門知識を要する領域のSUが本来業務である商品開発等に集中できるように、行政手続きや法務・財務・広報等の共通化可能な事務を代行支援する • 研究者が起業家を目指した際にはビジネス面でのノウハウを提供し、起業家育成に貢献する
既存大手・中小企業	<ul style="list-style-type: none"> • 自社が有するシーズや技術、ヒト・モノ・カネ・情報の提供によるオープンイノベーションを通して、SUの誕生と成長を支援する • 取引先として優先的に府内のSUと提携し、SUの成長と定着を支援する
SU企業	<ul style="list-style-type: none"> • 小回りの利く立場からより患者・消費者のニーズに応じた商品・サービスのアイデアを出し、その実現に向けて積極的な経済活動を展開する • 後進となるSUの誕生・育成に積極的に関わり、ESの当事者としてより良いLSS・ESの実現に貢献する
府民	<ul style="list-style-type: none"> • ライフサイエンス領域を大阪府の主要産業とすることを共通の目標とし、ライフサイエンス企業が 行う活動に理解を示す • ライフログの提供や治験への参加等、患者・消費者としての情報を提供する

大阪府では、特にSUの活動場所となる3拠点が有機的につながり、それぞれの特徴を最大限活かした効率的な支援の実現が必要と考えています

3拠点の連携イメージ



大阪府では、創薬研究が盛んな彩都、大規模病院の所在する健都、中心地において行政・消費者に近い中之島が、特化した支援を展開し連携することが有効と考えています

3拠点に求める主な機能イメージ

企業の成長ステップ	研究開発	起業準備・起業	事業活動					
			臨床・実証	仕入れ調整 営業・契約	製造・販売	資金調達	体制拡大	採用
主に施策を推進する拠点	彩都 ・創薬の拠点 ・大学研究の実用化推進	—	・創薬に関する実験環境、データの整備、提供	・創薬に関する仕入先のマッチング ・創薬に関する営業戦略策定支援	—	—	—	—
	健都 ・ヘルスケアの拠点 ・大企業との連携推進	—	・ヘルスケアに関する実験環境の整備、提供 ・領域を問わず国循、住民等によるPoC実施調整	・ヘルスケアに関する仕入先のマッチング ・ヘルスケアに関する営業戦略策定支援	—	—	—	—
	中之島 ・再生医療の拠点 ・ネットワーキング、国際プロモーションの推進	・各種研究機関との連携による再生医療の研究支援 ・シーズの実用化支援	・大企業や支援機関との連携による起業家育成プログラムの開発、提供	・再生医療に関する実験環境、データの整備、提供	・再生医療領域の仕入、営業戦略支援 ・領域を問わずマッチングイベントの開催	—	・VC、金融機関とのマッチングイベントの開催	・海外向け情報発信支援 ・大企業との提携に向けたピッチイベントの開催
大阪府 (3拠点共通)	・府内・国際共同研究等への資金援助 ・研究結果の情報発信	・行政手続きのワンストップ窓口の開設 ・雇用形態の特例処置	—	・法務、財務、税務等の無料相談サービスの提供	・調査、マーケティング支援	・府内SU、及びSUと連携する大手企業向けインセンティブの設定	・ビジネス成果の情報発信 ・SUの意見を吸い上げるキャラバンの実施	・SU就業者向け生活支援サービスの提供

4. 推進体制

4-1. 関係プレイヤーの役割

4-2. 協議会の発足、運営

LSS・ESの形成、運営に際しては関係者・有識者の方々より定期的にご意見を頂き、市場の変化に則した支援機能を提供します

LSS・ES協議会の概要

項目	説明
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府の特徴と市場の動向、大阪府下の企業・研究機関のニーズに応じてLSS・ESの在り方や三拠点を中心とした連携方法を議論する 現在の大阪府のライフサイエンス産業の状況、LSS・ESについて率直なご意見を頂き、SUの成功事例導出に向けた施策を検討する
実施概要	<p>◆参加対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 3拠点運営者 ✓ 大阪府下で研究活動を行う主要な大学、研究機関 ✓ SU支援に積極的に取り組む大企業 ✓ SU支援に積極的に取り組む支援機関 ✓ 大阪府下に拠点をもち、事業活動を行うSU <p style="text-align: right;">※内、協議テーマに応じて対象となる企業・団体を都度調整</p> <p>◆議論内容イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ SUの起業・事業拡大促進のために必要な機能について ✓ 研究機関・大企業がSU創出・SU支援を行うにあたって生じている課題について ✓ 大阪府のライフサイエンス産業拡大に向けて、大阪府に求める支援・施策について ✓ 産学官金が連携して実施する施策・事業等の推進方法について <p style="text-align: right;">等</p> <p>◆実施頻度</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 年2～4回程度、不定期開催
進め方	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制：大阪府にて事務局を設置し、案件に応じたメンバーを招集する 必要に応じて、協議会開催前に現状調査・個別ヒアリング等を行う 具体的な連携施策等に関する議論が必要な場合は、適宜分科会を設置し深く議論する